

各常任委員会の 主な質疑から

総合企画水道常任委員会

航空機墜落物事故について、航空会社が特定できなかった場合の補償はどのようになるのか。

昭和五十八年度に創設された共同補償制度により行うこととなる。

この制度は、成田空港を利用する航空会社が協定を結び、国、成田国際空港株式会社、航空会社、保険会社による「航空機墜落物確認委員会」において墜落物の可能性のある航空会社を確認の上、補償することとなっている。

被害時の補償制度は確立しているが、墜落物そのものを解消することが住民の安心を得ることとなると考えているので、墜落物の解消について、引き続き対応していきたい。

総務常任委員会

市町村の平成十九年度の健全化判断比率は、全ての県内市町村が基準を下回っているとのことだが、財政状況は健全であるということか。

また、市町村の財政運営について、今後、どのように助言をしていくのか。

県内では早期健全化基準を超えた市町村はない。しかし、実質公債費比率が一八%を超え、地方債の発行に際し許可を要する市町村が六団体あること、また、将来負担比率が二〇〇%を超えた市町村が五団体あることなど、県内市町村の財政は厳しいものとなっている。あらゆる機会を通じ、市町

村財政の健全性維持のために必要な助言を行ってまいりたい。

健康福祉常任委員会

新規事業である救急コーディネーター導入事業については、どのように事業を進めていくのか。

救急コーディネーター導入事業は、救急患者の搬送病院を迅速に決定できるように、救急コーディネーターを配置するものである。

すべての疾患を対象とするのではなく、各地域の状況を踏まえて特定の時間帯、疾患などに限定した形で実施する予定であり、当面の緊急的な措置として、平成二十一年一月から香取・海浜地域、山武・長生・夷隅地域、都市部の三地域などを対象に実施したいと考えている。

環境生活警察常任委員会

昨年、市川市において発生した英国人女性殺人事件や先般、東金市において発生した女児死体遺棄事件など未解決事件が住民に不安を与えているが、県警として県民が安心できるようなメッセージはあるか。

このような事件は、模倣性、再犯性があることから、直ちに捜査本部を立ち上げて早期検挙を図ることを第一とし、併せて地域における関係機関等との連携を密にし、安全対策の強化を図っていく。

商工労働企業常任委員会

三番瀬海域における漁業協同組合への賠償額について、県の提示額と調停額に差額が生じているが、金額の根拠は何か。

調停委員会から調停金額に関する基本的な考え方として示された「所見」において、県の提示額

の根拠である補償アドバイザーの提言を最大限尊重すべきとする一方で、漁協の約三十年の長期にわたるさまざまな負担を考えれば、県の提示額では解決は難しいとされた。

調停金額は、「県の提示額」に「漁協等の長期間にわたるさまざまな負担」などが加味されたものであると考えている。

農林水産常任委員会

千葉県の農業産出額が減少した原因は担い手不足の他にもあると思われるが、その他の原因と今後の目標について、農林水産部全体としてどのように考えるのか。

数字的な産出額の分析をすれば、畜産県である鹿兒島県に抜かれたのは、千葉県の農業は園芸が主であり、中でも野菜が中心となっていることから、肉と野菜の単価の違いなどによるものと思われる。

BSE問題により畜産関係の国内産需要が高まりを見せていることから、本県としても雌牛が生まれるような技術対策、ダイヤモンドポークのようなブランド化対策など、畜産にも力を入れながら、

文教常任委員会

安房博物館を館山市に移譲するに当たり、なぜ水族館を再整備するのか。

本流である園芸についても、ハウスなど施設化の推進や新しい産地づくりに取り組んでいきたいと考えている。

また、生産現場においては、ハード面である基盤整備とソフト面の担い手支援を並行して進めるとともに、生産と販売を両輪のごとく推進するという姿勢のもと、農林水産部の諸施策に取り組みしていきたい。

県土整備常任委員会

松戸都市計画道路三・三・七号線について、今後の松戸市が、安全性、その他総合的な観点から仮に、新たな道路案を土台とした変更案を示したとき、県は市の意向を尊重すべきと思うがどうか。

市が変更案を作成する際には、関係者や地域住民とよく話し合い、関係法令等に従い、必要な協議を整えて作成するものと考えている。県としても市の変更案を尊重したい。

「決算審査特別委員会」を設置

10月2日の本会議において、県の平成19年度一般会計及び特別会計の決算を審査するため、決算審査特別委員会を設置しました。

【委員長】杉田 守康(民主党)

【副委員長】石橋 清孝(自民党)

【委員】

吉本 充・皆川 輝夫・臼井 正人

信田 光保・渡辺 芳邦・伊藤 昌弘

大野 眞・大松 重和・松下 浩明(自民党)

花崎 広毅・石井 宏子・布施健太郎(民主党)

秋林 貴史(公明党)

丸山 慎一(共産党)

吉川 洋(市民ネット・社民・無所属)

平成20年12月定例県議会会期及び議事・委員会予定(案案)

月 日	議 事 予 定	開議予定時間
11月26日(水)	開会 知事提案理由説明	午前10時
27日(木)	議案調査のため休会	
28日(金)	//	
29日(土)	土曜日のため休会	
30日(日)	日曜日のため休会	
12月 1日(月)	議案調査のため休会	
2日(火)	質疑並びに一般質問	午前10時
3日(水)	//	//
4日(木)	//	//
5日(金)	//	//
6日(土)	土曜日のため休会	
7日(日)	日曜日のため休会	
8日(月)	質疑並びに一般質問	午前10時
9日(火)	//	//
10日(水)	常任委員会準備のため休会	
11日(木)	常任委員会開催	午前10時
12日(金)	//	//
13日(土)	土曜日のため休会	
14日(日)	日曜日のため休会	
15日(月)	常任委員会開催	午前10時
16日(火)	//	//
17日(水)	常任委員会予備日	
18日(木)	総合調整のため休会	
19日(金)	委員長報告等 採決 閉会	午後1時

*本案はおおよその日程であり、招集日前の議会運営委員会でご協議し最終決定します。

可決された議案

- ◆平成二十年度予算関係(四件)
 - ▽平成二十年度千葉県一般会計補正予算
 - ▽平成二十年度千葉県特別会計母子寡婦福祉基金補正予算
 - ▽平成二十年度千葉県特別会計中小企業振興融資基金補正予算
 - ▽平成二十年度千葉県特別会計土地造成整備事業会計補正予算
- ◆条例の制定(一件)
 - ▽千葉県医師修学資金貸付条例
- ◆条例の一部改正(八件)
 - ▽特別職の職員等の給与、旅費及び費用弁償に関する条例等
 - ▽職員の自己啓発等休業に関する条例
 - ▽千葉県県税条例
 - ▽千葉県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例
 - ▽使用料及び手数料条例

可決された意見書

- ▽航空機からの墜落物の防止対策の徹底を求める意見書
- ▽軽油引取税の用途による課税免除手続の簡素化を求める意見書

移譲に当たって、いかに博物館機能を継承していくかが課題と考えている。館山市からは、現在の博物館機能を包括的に継承したい旨の要望があり、その方向で協議を進めているが、老朽化が進んでいる水族館については、市からの要望を受け、再整備することで準備を進めている。

採択された請願

- ◆議員提出
 - ▽条例及び規則の一部改正(三件)
 - ▽千葉県議会会議規則
 - ▽千葉県政務調査費の交付等に関する条例
 - ▽特別職の職員等の給与、旅費及び費用弁償に関する条例
- ◆議案提出
 - ▽県道君津大貫線の早期改良整備を求めることについて
 - ▽富津市鬼沼山国有林一〇四林班ほかの山砂採取事業の早期着手に向けての土石採取対策審議会の早期開催を求めることについて
 - ▽首都圏の高速道路ネットワークの整備促進及び有効活用に向けた集中投資を求めることについて(第一項、第二項)

- ▽食品衛生法施行条例
- ▽特定非営利活動促進法施行条例
- ▽千葉県県営住宅設置管理条例
- ◆その他(十一件)
 - ▽契約の締結(五件)
 - ▽千葉県土地開発公社の定款の一部変更
 - ▽千葉県道路公社の定款の一部変更
 - ▽千葉県及び千葉縣市町村総合事務組合との間の消防救急無線設備の整備及び管理に関する事務の委託に関する規約の制定に関する協議
 - ▽和解
 - ▽調停(二件)
 - ▽千葉県及び千葉縣市町村総合事務組合との間の消防救急無線設備の整備及び管理に関する事務の委託に関する規約の制定に関する協議
 - ▽道路財源の「一般財源化」に関する意見書
 - ▽事故米の不正流通の再発防止に関する意見書
- ▽新たな過疎対策法の制定に関する意見書
- ▽私学助成制度の堅持及び充実強化に関する意見書
- ▽児童福祉法の早期改正と平成二十一年度福祉予算に関する意見書
- ▽警察官の増員に関する意見書
- ▽太陽光発電システムのごさなる普及促進を求める意見書
- ▽学校耐震化に関する意見書
- ▽道路財源の「一般財源化」に関する意見書